



アドビシステムズ社、2010年度第1四半期の業績を発表

新製品の発売が、同社の増収増益を牽引する見込み

【2010年3月24日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2010年3月23日）Adobe Systems Incorporated（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、2010年度第1四半期（2009年11月28日から2010年3月5日）の決算結果を発表しました。

2010年度第1四半期の売上は8億5,870万米ドルでした。2009年度の第1四半期は7億8,640万米ドルで、2009年度の第4四半期は7億5,730万米ドルでした。これは、前年同期比で9%増となります。アドビシステムズ社の第1四半期の売上目標は、8億米ドルから8億5,000万米ドルでした。

アドビシステムズ社の社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は、「ソリューションクリエイティブ向けのビジネスの安定性と Acrobat® ならびに Omniture® ビジネスの強みが組み合わさることで、第1四半期は堅調な業績を達成することができました。市場のトレンドに支えられ、当社の多岐にわたるビジネスは依然堅調です。今後予定されている Flash® Player と Creative Suite® の提供開始に関する見通しは明るい」と確信しています」と述べています。

2010年度第1四半期の GAAP に基づく（GAAP ベース）の業績

今四半期の GAAP ベース希薄化後1株当たり利益（EPS）は、期間中の加重平均発行済株式数5億3,260万株に対し、0.24米ドルでした。前年同期は加重平均発行済株式数5億2,780万株に対し、EPS0.30米ドルでした。2009年度第4四半期は加重平均発行済株式数5億3,200万株に対し、EPS0.06米ドルの損失でした。

今四半期の GAAP ベース営業利益は1億7,680万米ドルでした。前年同期実績は2億790万米ドル、2009年度第4四半期実績は1億5,360万米ドルでした。今四半期の売上に対する GAAP 上の営業利益率は20.6%で、前年同期は26.4%、2009年度第4四半期が20.3%でした。

今四半期の GAAP ベース純利益は1億2,720万米ドルでした。前年同期実績は1億5,640万米ドルの純利益、2009年度第4四半期実績は3,200万米ドルの純損失でした。

2010年度第1四半期の GAAP に基づかないベース（Non-GAAP ベース）の業績

今四半期の Non-GAAP ベース希薄化後1株当たり利益（EPS）は0.40米ドルでした。前年同期の EPS は0.45米ドル、2009年度第4四半期の EPS は0.39米ドルでした。

今四半期の Non-GAAP ベース営業利益は 2 億 8,930 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 9,500 万米ドル、2009 年度第 4 四半期実績は 2 億 6,520 万米ドルでした。売上に対する Non-GAAP 上の営業利益率は、今四半期が 33.7% で、前年同期は 37.5%、2009 年度第 4 四半期が 35.0% でした。

今四半期の Non-GAAP ベース純利益は 2 億 1,170 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 3,680 万米ドル、2009 年度第 4 四半期実績は 2 億 680 万米ドルでした。

2010 年度第 2 四半期の目標を発表

アドビ システムズ社は 2010 年度第 2 四半期の売上目標を 8 億 7,500 万米ドルから 9 億 2,500 万米ドルに設定しています。第 2 四半期の営業利益率目標は、GAAP ベースで 21.0% から 24.5%、Non-GAAP ベースで 33.5% から 35.5% です。さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済株式数について、5 億 3,100 万株から 5 億 3,500 万株を目標にしています。また、営業外費用については、1,600 万米ドルから 1,800 万米ドルを見込んでいます。GAAP ベースと Non-GAAP ベースの実効税率は約 25% と予想しています。これらの目標値に基づき、2010 年度第 2 四半期の希薄化後 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベースで 0.23 米ドルから 0.30 米ドルの間、Non-GAAP ベースでは 0.39 米ドルから 0.44 米ドルの間と設定しています。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した売上、営業利益率、営業外費用、実効税率、株式数、1 株当たり利益、および市場の成長性に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 新製品およびサービス、または既存製品およびサービスの新しいバージョンまたは機能強化に関して、顧客の要求に応える開発、市場投入、流通の失敗
- 既存の、または新たな競合他社による新製品およびサービスならびにビジネスモデルの市場投入
- 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- 不況および金融市場の不確実性の継続など、アドビ システムズ社が事業をおこなっている主要地域での一般的な経済、政治的環境の不利な変化
- 新規事業からの売上予測の難しさ
- 過去および将来の買収において見込まれた利益の達成困難およびそれら買収先の統合の難航
- 知的財産の取得、紛争、訴訟に伴う費用
- アドビ システムズ社の知的財産を第三者による侵害、不正使用、または不正開示から保護できないこと
- 当社の製品およびシステムのセキュリティに関する脆弱性
- 当社のサービスまたはサービスのホスティングまたは提供を行うサードパーティサービスプロバイダからのサービスの中断または遅れ、セキュリティまたはプライバシーの侵害、もしくはデータ収集の失敗
- 販売経路および流通経路ならびにサードパーティの顧客サービスおよび技術サポートのプロバイダーの効果的な管理の失敗
- 天災、大惨事による事業中断

- 世界的な事業展開に伴うリスク
- 外国為替相場の変動
- 当社の債務返済義務に伴うリスク
- 会計原則またはその解釈の変更
- アドビ システムズ社の営業権または無形資産の減損
- 税に関する法令またはその解釈の変更
- 主要な人材を集め、維持することができないこと
- 資本市場の悪化による投資ポートフォリオの減損
- 株式投資に伴う市場リスク

本プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビシステムズ社が 2010 年度第 1 四半期（2009 年 11 月 28 日から 2010 年 3 月 5 日）について 2010 年 4 月中に提出予定の四半期報告書（Form10-Q）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビシステムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、アドビシステムズ社が証券取引委員会（SEC）に提出した書類をご参照ください。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に革新をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。